

## 構内第一柱の上部より煙？

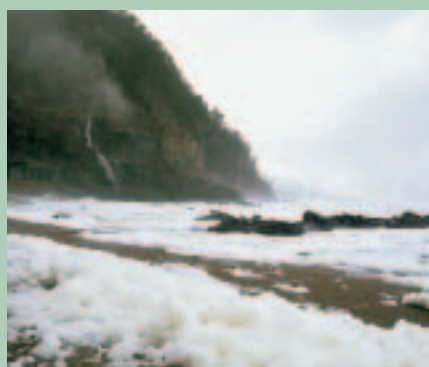
能登営業所 保安課 妹石 武吉

寒い3月の夕刻に海岸沿いで旅館業を営むお客さまより「電柱の上部から煙が出ているので見てほしい」と連絡がはりました。

早速、お客さま方へお伺いして現場を確認したところ、すでに煙は発生していませんでした。そこで、煙が出ていた構内第一柱の柱上点検を実施するため、お客さまから停電のご了解をいただきました。

高圧区分開閉器を開放して昇柱し点検したところ、高圧区分開閉器と計器用変成器の電線接続部分で電線被覆及びカバーが溶けており、焦げたような匂いがしました。また、付近の電線には「波の華」が付着し濡れたような跡がありました。

この時期の能登半島では、北西寄りの強い季節風が吹くと「波の華」が見られます。これは、岸壁に当たった波が白い泡状になる現象で、強風により舞い上がると宙を花びらが舞っているように見え陸地まで漂ってきます。遠目に見ると綺麗ですが、近くで見ると茶色っぽく服に着くと「にちゃっ」（ねっとりする様子）として決して綺麗なものではなく、付近に飛散し塩害を引き起こす厄介者です！（波の華は能登半島の観光資源ですが、観光に来られる方には残念な告知で申し訳ありません）。この日も現場に向かう途中では、「波の華」がところどころに残っている状況でした。



波の華

柱上で電線被覆及びカバーが溶けた部分は1箇所のみで、その他の各部を点検しましたが異常はなく、絶縁抵抗測定値は正常でした。計器用変成器は電力会社の設備であり、当該接続部分は電力会社が工事を実施する部分のため、すぐに電力会社に連絡し改修して頂きました。

幸いにもお客さまの設備には非常用予備発電装置が設置されており、停電時に旅館のすべての電源を確保できることから、営業に支障をきたすことはありませんでした。

発生原因について電力会社と検討したところ、当該接続部分が、塩害による錆びで接触不良が発生し過熱したとの結論に至りました。

今回は、電線被覆及びカバーが溶けるという程度で済み、停電等の大きな事故には至りませんでした。お客さまには、再発防止策として、定期的に停電させて塩分を落とすための清掃等を実施すること、また、計画的な高圧受電設備の更新も必要であることを説明し、ご了解していただきました。

今後も重塩害地区のお客さま設備を点検する際には、特に屋外柱上機器の本体及び電線接続部分等を確認するとともに、年次点検（停電点検）実施時には、必要に応じて塩分を落とす清掃等を行い、同じような故障が発生しないよう適切な電気工作物の維持管理に努めていきたいと思っております。

電線被覆及びカバーが溶けた部分



腐食で膨らんだ接続部分

